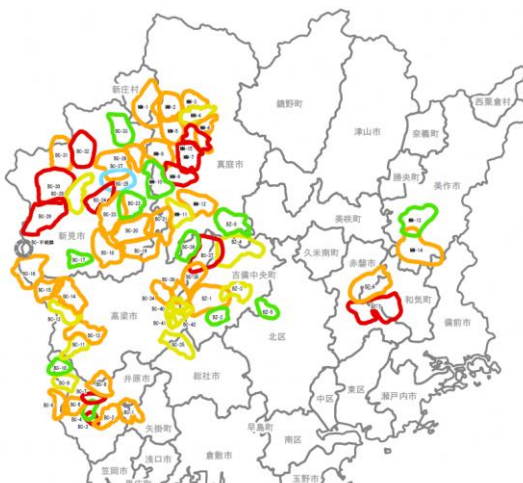


# サル出没カレンダー調査 結果報告

## 岡山県サル生息状況調査 2017年度結果



推定群れ数：66群  
推定生息数：約2,300~2,900頭

# 岡山県サル生息状況調査 2017年度結果



## 計画の目標

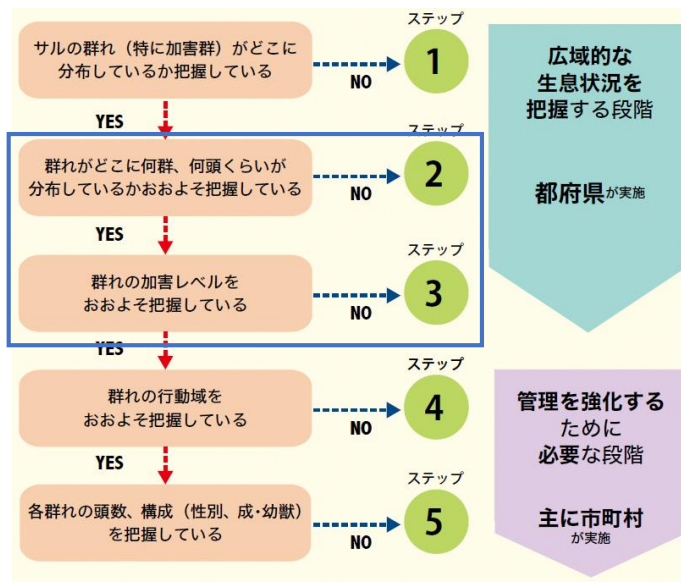
- ・ 捕獲と被害防止対策の強化
- ・ 農業、生活環境、人身被害の防止
- ・ 地域個体群の安定的な維持

## 具体的な対策の内容

3年間で  
加害レベル4の11群除去へ



# サル出没カレンダー調査実施状況

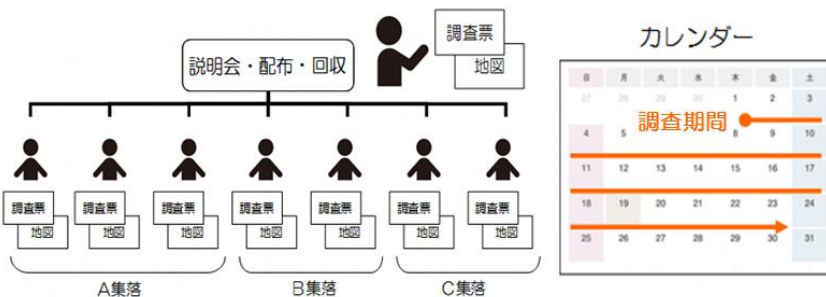


# サル出没カレンダー調査実施状況



## サル出没カレンダー調査

一定期間、一斉にサルの出没を記録する日誌調査



令和2年10月19日～11月20日まで実施

# サル出没カレンダー調査実施状況

岡山県事業



## サル生息状況等調査

(サル出没カレンダー調査)

10月19日～11月20日の1か月の間に

**サルの群れを見たら・・・**

サルの声を聞いたら・・・

ご家族、ご近所の方が見たという話を聞いたら・・・

**記録をお願いします！**

調査をお願いする期間

**10月19日(月)～11月20日(金)**

※この期間、岡山県内の該当市町村で一斉に本調査を実施し、サルの生息状況を調査します。

期間終了後、速やかに同封した返信用封筒に調査票と地図を入れて、ポストへの投函をお願いします。(※切手は不要です)

※期間中にサルの出没がなく、未記入でもご提出ください。

**返却期限：12月4日(金)まで**

### 記入上の注意

1. サル出没情報をできるだけたくさんご記入下さい。
2. サルが出没した日時・頭数を正確にご記入下さい。
3. サルが出没した場所を正確に地図にご記入下さい。
4. サルを1日に複数回見たら、行を分けてご記入下さい。

本調査により収集した情報によって、被害状況・出没群れ数・被害特性・個体数などの基礎情報を収集し、被害対策の効果的な推進及び生息実態把握のための基礎資料としていきます。

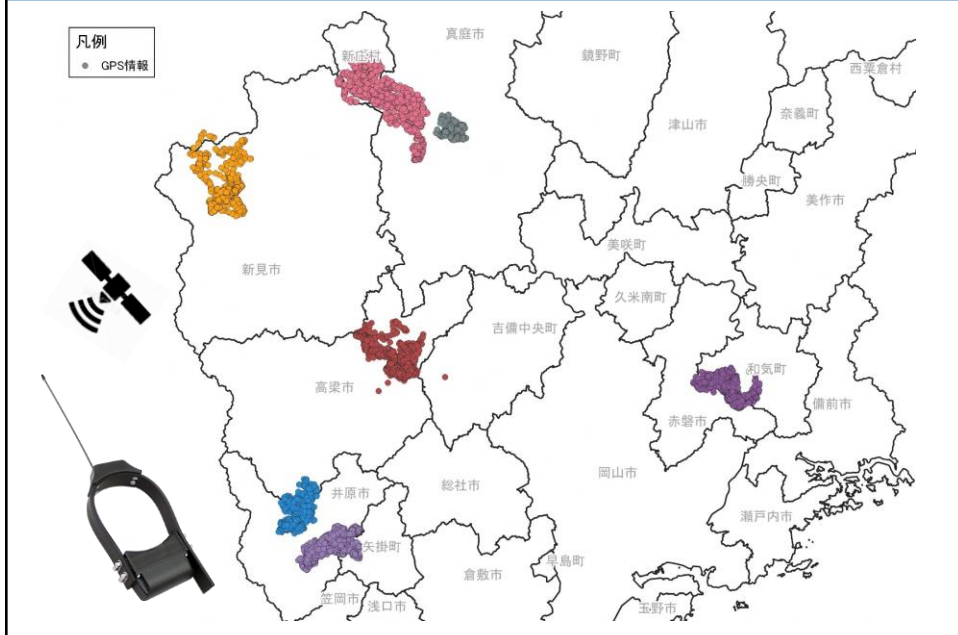
調査へのご協力をお願いします

(該当するものに☑を入れてください)

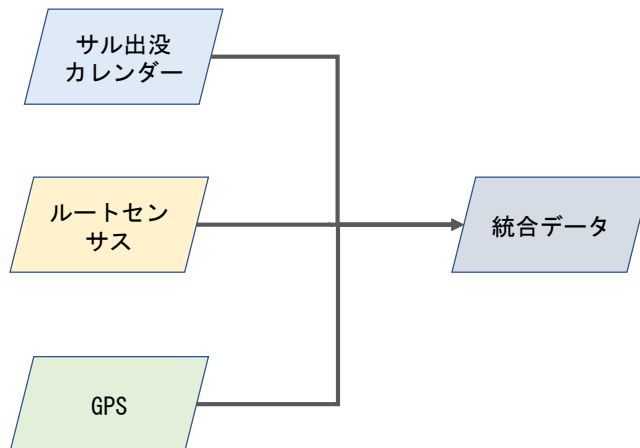
お名前			
1. サルの群れの出没状況について教えてください			
<input type="checkbox"/> 今回出没あり(記録あり)	出没する季節	<input type="checkbox"/> 春	<input type="checkbox"/> 夏
<input type="checkbox"/> 今回出没なし(記録なし)		<input type="checkbox"/> 秋	<input type="checkbox"/> 冬
自由意見			
【問い合わせ先(委託元)】 岡山県農林水産部自然害対策室 担当：中島(フカシマ) 電話：086-226-7439		【問い合わせ先(事業者)】 (株)野生動物保護管理事務所 担当：藏元(クラモト) 電話：0848-37-1593	



## 既存情報収集状況

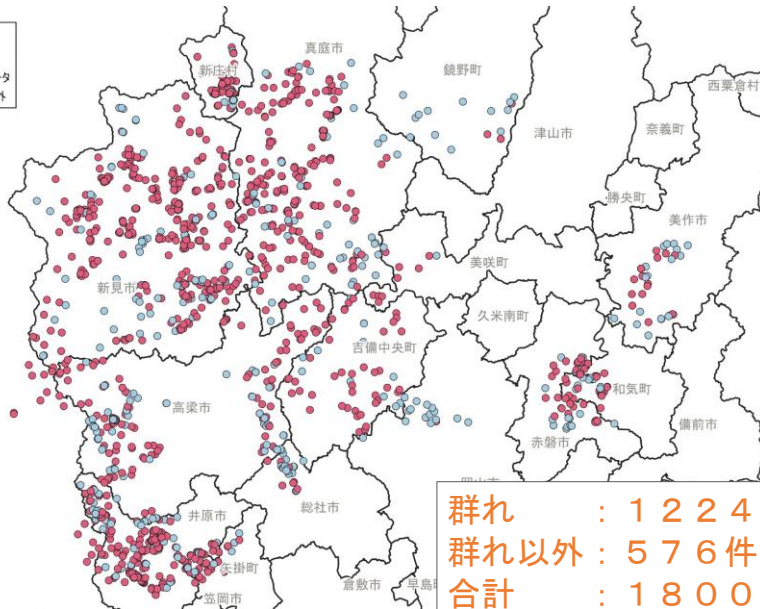


## データの統合



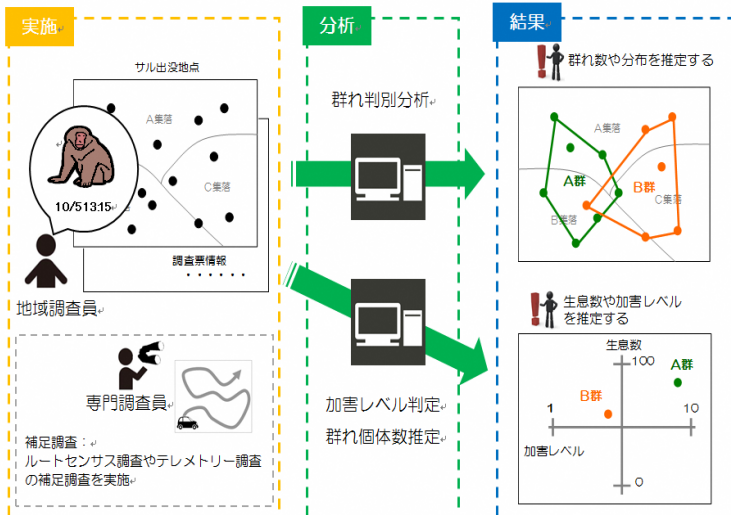
# サル確認地点

凡例  
 群れ判別  
 ● 群れデータ  
 ● 群れ以外



群れ	: 1 2 2 4 件
群れ以外	: 5 7 6 件
合計	: 1 8 0 0 件

# データ分析





# 推定結果

凡例  
 推定行動圏



推定群数：64群  
 推定頭数：2375～3348頭

# 加害レベル判定

加害レベル判定表（環境省ガイドライン）

ポイント	出没頻度	平均的な出没規模	人への反応	集落への加害状況	生活被害
0	山奥にいたためみかけない	群れは山から出てこない	遠くにおいても、人の姿を見ただけで逃げる	被害集落はない	被害なし
1	季節的にみかけるときがある	2、3頭程度の出没が多い	遠くにおいても、人が近づくと逃げる	軽微な被害を受けている集落がある	宅地周辺のみかける
2	通年、週に1回程度どこかの集落でみかける	10頭未満の出没が多い	遠くにいる場合逃げないが、20m以内までは近づけない	大きな被害を受けている集落がある	庭先に来る、屋根に登る
3	通年、週に2、3回近くどこかの集落でみかける	10～20頭程度の出没が多い	群れの中に、20mまで近づいても逃げないサルがいる	甚大な被害を受けている集落がある	器物を損壊する
4	通年、ほぼ毎日どこかの集落でみかける	20頭以上の出没が多い	遠い場所でも逃げない、または人に近づいて威嚇するサルがいる	甚大な被害を受けている集落が3集落以上ある	住居侵入が常態化

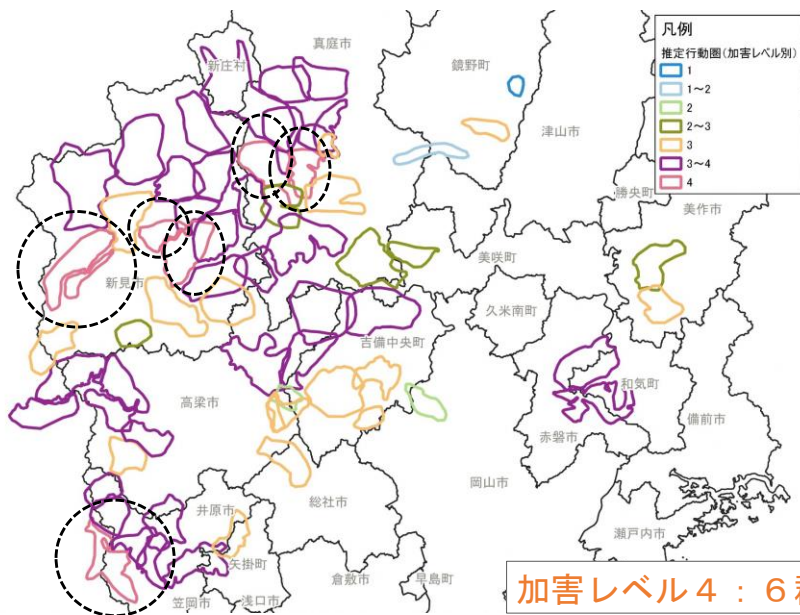
それぞれの項目における判定は、①現地調査、②アンケート調査、③専門家もしくは行政担当官によるチェックのいずれかによって行う。個体数調整の対象群等においては、①あるいは②の手法による客観的な評価に基づいて加害レベルを判定することが望ましい。

各指標のポイントを合計して加害レベルを判定する

加害レベル	合計ポイント
0	0
1	1-2
2	3-7
3	8-12
4	13-17
5	18-20

- 加害レベル0** 群れは山奥に生息しており、集落に出没することがないので被害はない。
- 加害レベル1** 群れは集落にたまに出没するが、ほとんど被害はない。
- 加害レベル2** 群れの出没は季節的で農作物の被害はあるが、耕作地に群れ全体が出てくることはない。
- 加害レベル3** 群れは、季節的に群れの大半の個体が耕作地に出てきて、農作物に被害を出す。
- 加害レベル4** 群れ全体が、通年耕作地の近くに出没し、常時被害がある。人と集落環境への慣れが進み、生活環境被害が発生する。
- 加害レベル5** 群れ全体が通年・頻繁に出没。人と集落環境への慣れが進み、生活環境被害が大きく、人身被害の恐れがある。

# 推定結果



加害レベル4 : 6群

# 群れごとの推定頭数および加害レベル

群名	変更後 群れ名	加害レベル		推定個体数	群名	変更後 群れ名	加害レベル		推定個体数	群名	変更後 群れ名	加害レベル		推定個体数
		前回	今回				前回	今回				前回	今回	
BC-3・4	井原A	4	3~4	70~100	BC-40	高梁吉備中央B	3	2	13~20	MM-3・4	真庭B	3~4	3~4	30
BC-5	井原B	4	3~4	30~50	BC-38・39	高梁吉備中央C	3~4	3~4	50~60	MM-5	真庭C	3~4	3~4	30~40
BC-6	井原福山A	3~4	4	30~50	BC-36・37	高梁吉備中央D	4	3~4	50~60	MM-6	真庭D	3~4	3~4	36
BC-9	井原福山B	3	3~4	50~60	BC-19	高梁新見A	3~4	3	30~40	New	真庭E	—	3	20~30
BC-10	井原福山C	2~3	3~4	20~30	BC-15	高梁神石高原A	3~4	3~4	30~40	MM-7	真庭F	4	4	92
BC-1・2	井原矢掛A	3~4	3~4	72~100	BC-35	高梁総社A	3	3	20~30	MM-8	真庭G	3~4	4	80~100
New	井原矢掛B	—	3	10~15	BC-17	新見A	2~3	2~3	10~15	MM-9	真庭H	4	3	30
BZ-5	岡山	2~3	2	10~30	BC-18	新見B	3~4	3	40~50	MM-11・12	真庭I	3~4	3~4	110
BZ-1・2	吉備中央A	3~4	3	30~40	BC-20	新見C	3~4	3~4	50	New	真庭J	2~3	3	50~60
New	吉備中央B	—	3	20~30	BC-22	新見D	2~3	3~4	40~50	MM-15	真庭K	4	3~4	150
BZ-3	吉備中央C	3	3	20~30	BC-23	新見E	3~4	4	40~50	unknown	真庭鏡野A	—	1~2	30
BZ-4	吉備中央美咲A	3	3~4	20~30	BC-24	新見F	4	4	60~70	BC-21	真庭新見A	3~4	2~3	20~30
unknown	鏡野A	—	3~4	20~30	BC-25	新見G	2	3~4	50~60	MM-10	真庭新見B	2~3	3~4	50~60
unknown	鏡野B	—	0~1	10~20	BC-26	新見H	3~4	3~4	50~60	MM-1・5	真庭新庄A	3~4	3~4	70~80
BC-11	高梁A	3	3	30~40	BC-27	新見I	3~4	3~4	50~60	BZ-8	真庭美咲A	2~3	2~3	20~30
BC-12	高梁B	3~4	3~4	30~40	BC-28	新見J	3	3	40~50	New	美咲A	—	2~3	20
BC-13	高梁C	3	3~4	30~50	BC-29	新見K	4	4	60	BZ-6	赤磐和気A	3~4	3~4	30~50
BC-14	高梁D	3~4	3~4	50~60	BC-32	新見L	4	3~4	60~70	BZ-7	赤磐和気B	4	3~4	20~30
BC-34	高梁E	3~4	3~4	60~70	BC-33	新見M	2~3	3~4	60~70	MM-13	美作A	2~3	2~3	20~30
BC-42	高梁F	3	3	38~40	BC-16	新見庄原A	3~4	3	50~60	MM-14	美作B	3~4	3	20~30
BC-7・8	高梁井原A	3~4	3~4	60~70	BC-30・31	新見日南A	4	3~4	100~110					
BC-41	高梁吉備中央A	3	3	94~100	MM-2・4	真庭A	3~4	3~4	50~60					
											計64群			2735~3348頭



## 加害レベル別群れ数

加害レベル	推定群れ数	推定生息数 (最小)	推定生息数 (最大)
0~1	—	—	—
1~2	—	—	—
2	1	20	30
2~3	11	240	320
3	12	439	529
3~4	30	1040	1350
4	11	565	650
不明	1	0	0
<b>計</b>	<b>66</b>	<b>2,304</b>	<b>2,879</b>

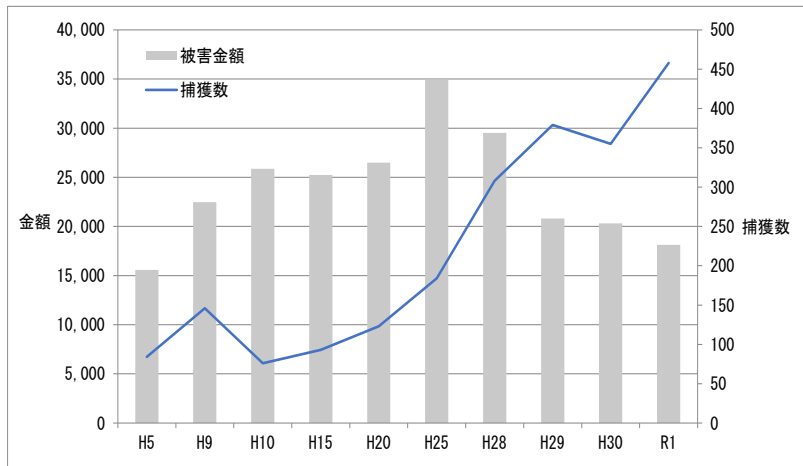
2017年度

加害レベル	推定群れ数	推定生息数 (最小)	推定生息数 (最大)
0~1	1	10	20
1~2	1	30	30
2	2	23	50
2~3	5	90	125
3	17	562	705
3~4	32	1658	1996
4	6	362	422
不明	—	—	—
<b>計</b>	<b>64</b>	<b>2,735</b>	<b>3,348</b>

今年度

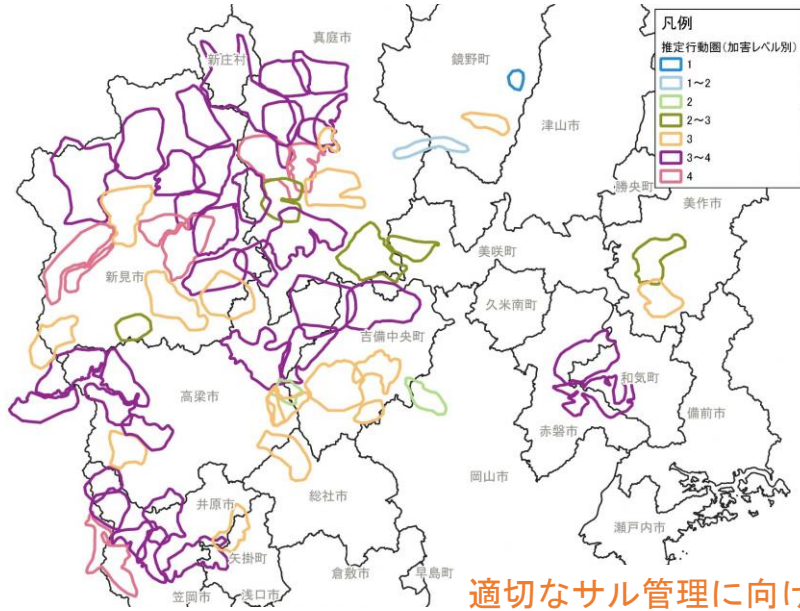
## 加害レベル別群れ数

### 計画的な捕獲と被害防除対策を



岡山県HP 鳥獣による農林水産被害状況等より

# ご協力ありがとうございました



適切なサル管理に向けて